

練馬区立男女共同参画センター

えーるだより

平成24年 3月号 (第35号)

練馬区立男女共同参画センター
～ えーるのご案内～

- 開館時間 午前9時～午後9時30分
- 通年開館です
(12月29日～1月3日を除く)
- お部屋の利用申し込みは
(練馬区公共施設予約システムで)
<http://www.yoyaku-nerima.jp/>



24年度区民企画講座募集!

男女参画センターえーる で実施する講座の
企画・運営をしてくださる団体を募集します。

- 募集対象団体：主に区内で活動している団体
：代表者が区内在住・在勤・在学で16歳以上の方
- 募集数：4団体(選考) ○締め切り：4月20日(金)
- 講座実施期間：24年9月1日(土)～25年3月31日(日)
- 委託料：1講座につき1万円または2万円(保育を行う場合は加算あり)
- 申し込み：電話 3996-9007 (4月1日より受付)



午前8時30分～午後5時

☆テーマの例：男女共同参画・女性のライフプラン
仕事と子育ての両立・女性の健康など

☆えーる5月の講座ご案内



パソコン相談会：5月10日(木)

※詳しくは4月11日発行の区報をご覧ください

母の日父子キッチンワーク：5月13日(日)

※詳しくは4月21日発行の区報をご覧ください



男女共同参画ミニ講座『“男女共同参画”って何だろう?』
5月15日(火/10:00～11:30)・24日(木/14:00～15:30)
※4月16日(月)から 電話3996-9007又は、窓口にて受付けます

えーるフェスティバル開催



2012

6月2日(土)・3日(日)

テーマ「男女がともに輝く未来を！」

おちあい けいこ
☆落合 恵子 氏

講演会講師が決まりました

プロフィール：明治大学卒業後、文化放送にアナウンサーとして入社。ゆったりと静かに語りかけるその話術とやさしさで、幅広い年齢から「レモンちゃん」の愛称で人気を得る。1974年に退職し、作家活動に入る。

現在は作家/クレヨンハウス代表/東京家政大学特任教授

- オープニングイベント：2日(土) 雅太鼓 / 3日(金) だいこんブラス
- このほか、えーるで活動中の団体による発表や展示、恒例のクイズラリーなどイベントもあります。見て、聞いて、誰でも参加できるお楽しみが沢山あります。ご家族やお友達揃っておでかけください。



詳しくは5月11日(金)発行の区報をご覧ください

館内のリニューアルが終わりました！

2月18日から3月4日にかけて行いました2階、3階の改修工事が無事終了致しました。期間中、ご利用の皆さまには大変ご不便をおかけ致しました。皆さまのご協力のお陰で2階保育室、会議室、視聴覚室、階段、交流コーナー通路の改修工事を無事終える事が出来ました。「きれいになり、明るくなって気持ちいい。」と、ご利用のみなさまにも大変ご好評頂いております。

保育室も明るくなりました



各階の階段もきれいに



2階交流コーナーフロアの床も張替えました

24年度のロッカー使用団体が決定

☆ロッカー数96個に対し、申し込み数が102件ありました。

申し込み数がロッカー数を越えたため、3月14日(水)に公開抽選を行い、利用団体を決定致しました。

○当選した団体は、昨年と同じロッカーをそのままご利用になれます。

新しく鍵をお受け取りになる団体は4月1日以降登録カードと利用承認書をご持参ください。 ○貸出期間：24年4月1日～25年3月31日



～いわき市の農家との交流と援農ツアーに
参加して～

コラム 女と男の スクランブル交差点

東日本大震災からはや1年を迎える3月3日・4日と、福島県いわき市の農家との交流と援農ツアーに参加した。母が福島出身者であり、また家庭菜園を長年やってきた経験から少しはお手伝いできるかなと思ってのことだった。参加者は女14人男11人の25人で、ほとんどが60代であった。主催は、昨年9月の区民企画講座で、津波の怖さを訴える「稲むらの火」という講談と出身地のいわき市の被災状況を語った講談師・神田香織さんがその後立ち上げたNPO法人ふくしま支援・人と文化ネットワークで、いわき市のNPO法人ザ・ピープルとの共同事業であった。

3日、家庭からのてんぷら油を回収・リサイクルした軽油で走る大型バスで一路いわき市へ。小名浜地区交流サロンで、ザ・ピープルの理事長・吉田恵美子さんより震災後のNPOによる被災者支援事業の報告を聞いた後、NPO法人ふよう土2100の里見さん、大澤さんという若者がガイドとして加わり、被災地の見学に同行した。門塀と土台だけ残った海辺の保育所跡や中学校の隣にうず高く積まれた瓦礫の山、避難者が入居している仮設住宅群は、確かにこの地が被災を受けたことを物語っていた。市内でも特に大きな被害を受けたという久之浜地区では、除染のすんだ久之浜第一小学校の敷地に昨年の9月に出来たという浜風商店街で買物をした。プレハブ10棟ほどの仮設店舗の入口に、久之浜復興情報館ふれあいブースがあり、被災当時の写真が壁一杯に貼られていた。消防団の遠藤さんに久之浜火災現場を案内してもらい、被災当日の救助の様子などを聞いた。瓦礫は撤去され、見渡す限り建物の土台だけが残っている荒涼たる空間の中に、ポツンと赤い鳥居と小さい社だけが遠くに見えた光景は、何とも異様な雰囲気呈していた。原発から20kmの広野町では、火力発電所の3基の煙突から煙がもくもくと立ち上っていた。遠目には防護服の人の姿が見えたりして、今まさに原発事故からの復興のさ中にいるのだという緊迫感が伝わってきた。

4日は遠野町上根本字矢本にある為朝集落へ。4.11の余震で水脈が変わり今でも断水状態が続いているという。集落の世話人・折笠茂子さんのハウスを手伝うことになった。ハウスの中に籾殻を撒き散らす仕事や春菊畑の撤去のお手伝いだ。大きなビニールを巻き取り、マルチをはがしてから、春菊と雑草を抜き取った。大勢でやると楽しくて早い。たちまち綺麗になった。春菊の後は、5月の田植えに使う稲の苗を作るのだと言う。仕事のおまけに、芹や蒨のとう採り、菜花摘みがあり、さながら収穫ツアーのようで一同大喜びだった。集会所で昼食を食べながら、農家の方々と交流をはかった。前日秋田で仕事だった神田さんと、オーガニックコットンプロジェクトを推進し、いずれ福島から世界へと発信していきたいと言う渡邊さんが合流した。茂子さんが「下ばかり向いてられない、自分達の生活を守っていくためにも・・・」と力強く言ったことに、私達は熱い拍手を送った。

二日間にわたり、ほんの一部分ではあったが自分で見聞きできたことは本当によかった。終始笑顔で私達の面倒を見てくれた方々は、明るく前向きであった。彼らのような人がいて、皆が力を合わせれば、必ずや復興できる。私達が3.11を忘れないでいることこそが、微力ながら被災地の方々と応援することにつながっていくのではないかと思う。また機会があればぜひ参加したい。

(T. K)



窓口からの「お知らせ」と「ご案内」

「夜間休館のお知らせ」

4月29日（日）は館内の害虫
駆除のため、**夜間休館**致します。
ご理解とご協力をお願い致します



「全日休館のお知らせ」

5月20日（日）は館内空調設備の
保守・点検を行いますので**全日休館**
とさせていただきます。

～ 図書・資料室からのご案内 ～

※ 5月の保育付 **BOOKタイム** のごあんない

日 時：5月9日（水） 午前10時～12時

定 員： **6名**（1歳以上の幼児を育てている保護者）

申 込：4月25日（水）より電話にて先着順

電 話：3996-9007 月曜日～金曜日 **8:30～17:00**



○相談室 ☎3996-9050 に、お電話ください。

一人で悩まずに、まずはご相談ください。

- ★女性の何でも相談は毎日受付しております 【毎日・9時～19時
（祝休日は17時まで）】
- ★心の相談【要予約・毎日・10時～19時（祝休日は17時まで）】
- ★女性および母子への暴力に対する専門相談 【要予約・毎週月曜日 9時～17時】
【要予約・毎週金曜日10時～19時】
- ※第1金曜日のみ練馬区区民相談所で実施 【時間9時～17時】
- ★法律相談【要予約・祝休日を除く毎週土曜日・13時～16時（1組30分）】

※法律相談の予約について 相談日の1週間前の午前9時から電話にて受け付けします。

<喫茶の営業案内>



- ◆営業時間 午前10時～午後6時
- 数の多い注文は予約受けを致しております
- 部屋のご利用時間中のご注文は、お部屋までお届けいたします。
- サンドイッチ・パスタ・ピラフなどの軽食メニューもございます。

練馬区立
男女共同参画センター
えーる ご案内

〒177-0041 東京都練馬区石神井町8-1-10
TEL.(03)3996-9005 FAX.(03)-3996-9010



四ツ池公園 石神井公園駅南口から徒歩7分
車での来場は、ご遠慮下さい。